

ひなたの郷

学校で学ぶこと

「学校には、何をしに来るのでしょうか?」。担任をしている時、4月最初の朝の会で子供たちに投げかけていた質問です。子供たちは「勉強するため!」と大きな声で答えます。「勉強だけなら家や塾でもできるんじゃないの!？」と揺さぶりをかけると、「友達をつくるため」「他の人と仲良くするため」「たくさん遊ぶため」…、様々な考えが出されてきます。全て正解です。学校は学習が大黒柱ですが、人との関りの中で社会性を育てていく場です。楽しいこともあれば、時には困ることも起こるでしょう。そうした全てが、大人になって社会に飛び立つ上での素地となるのです。大切なのは、子供の状態を周りの大人がしっかりつかんでおくことです。その為には学校と保護者の連携は欠かせません。学校では見えづらいこと、家庭では見えづらいことが当然あります。気になることは早めに情報交換していければと思います。

校庭をのぞくと、1年生が6年生と楽しそうに過ごしていました。1年生は満面の笑み、6年生は慈しみをもちた温かな表情でした。この日の活動の中でも、6年生、1年生ともに大きな心の学びがあったことと思います。



学力向上プロジェクト

今年度の自校の【全国学力・学習調査】結果を見ると、「無回答率(答えていない割合)」が、全国と比較して、大変低いという良い結果が得られました。正答を記入するだけではなく、自分がどのように考えたのかを表現する力が問われています。これまでの授業の中で、考えを表現する積み上げがなされてきたことが「無回答率」の低さにつながってきたのだと思います。



本校では、学年ごとの学習課題を見つめ直し、「学年単位」「学校全体」でさらに学力向上を図る取組をスタートさせます。子供たちの学力向上には、**教師の指導**に加え、**子供たちのやる気、保護者のバックアップ**が欠かせません。昨年度の学校評価結果を見ると「家習の習慣が身に付いていない」とお考えの保護者が21%見られました。「家庭学習」の大切さを、学校と家庭の両輪で子供たちに伝えていければと思います。

福島県 PTA 研究大会会津若松大会より

10月11日(土)会津若松市で行われた福島県 PTA 研究大会に、校長と PTA 会長が参加してきました。講演の内容を一部紹介します。

講師は、家庭環境から「どうせ自分は…」という後ろ向きの考え方だった生き方に決別し、『絶対に逃げない!』と一念発起します。有名塾の講師としての採用を契機に、そこでNo.1講師になることを決意し努力を重ねます。結果、ある時から退職して起業するまで No.1 を取り続けたそうです。お話の中でたくさん大切な言葉がありましたが、いくつか紹介します。



- 元旦の如く「今日」を区切りの日と考え、**目標を立て行動**すること!
- とにかく**続ける**こと! 何事もはじめは上手いかないのが当たり前!
- 子供を管理(コントロール)する段階から、**徐々に自立(自分の力で解決していく)**へ導くこと!

子供たちを守りましょう!

SNS・インターネットを介した危険については、様々な形で保護者の皆様にもご理解いただいていることかと思います。今年度、県内全体での抽出(県内188校対象。回答児童数34,256人)調査を行った結果、**5時間以上利用**していると回答した児童が**13%**にも達しているとの結果でした。複数回答を可として、利用の内容を尋ねたところ、【動画:約89%】【ゲーム:約76%】【検索:約61%】でした。

家庭で SNS・インターネットを活用する環境の質問では、【フィルタリング機能を付けていない】【家庭内での使用ルールがない】などに、課題が見られました。

子供がネット上で知り合った人物とのやり取りの中で**犯罪に巻き込まれる**、テレビや新聞報道によれば眼球の形に影響が出るなど、現実的な危険が潜んでいます。大人が意識して、子供たちを守っていきましょう。

